

---

**1. 2011年3月期第2四半期決算について**

**2. 2011年3月期業績見通し**

**3. 中長期の成長に向けて**

# 経営環境認識

- 日銀短観のソフトウェア投資計画(今期)に大きな変更はないものの、  
上期⇒下期への先延ばしの傾向が顕著

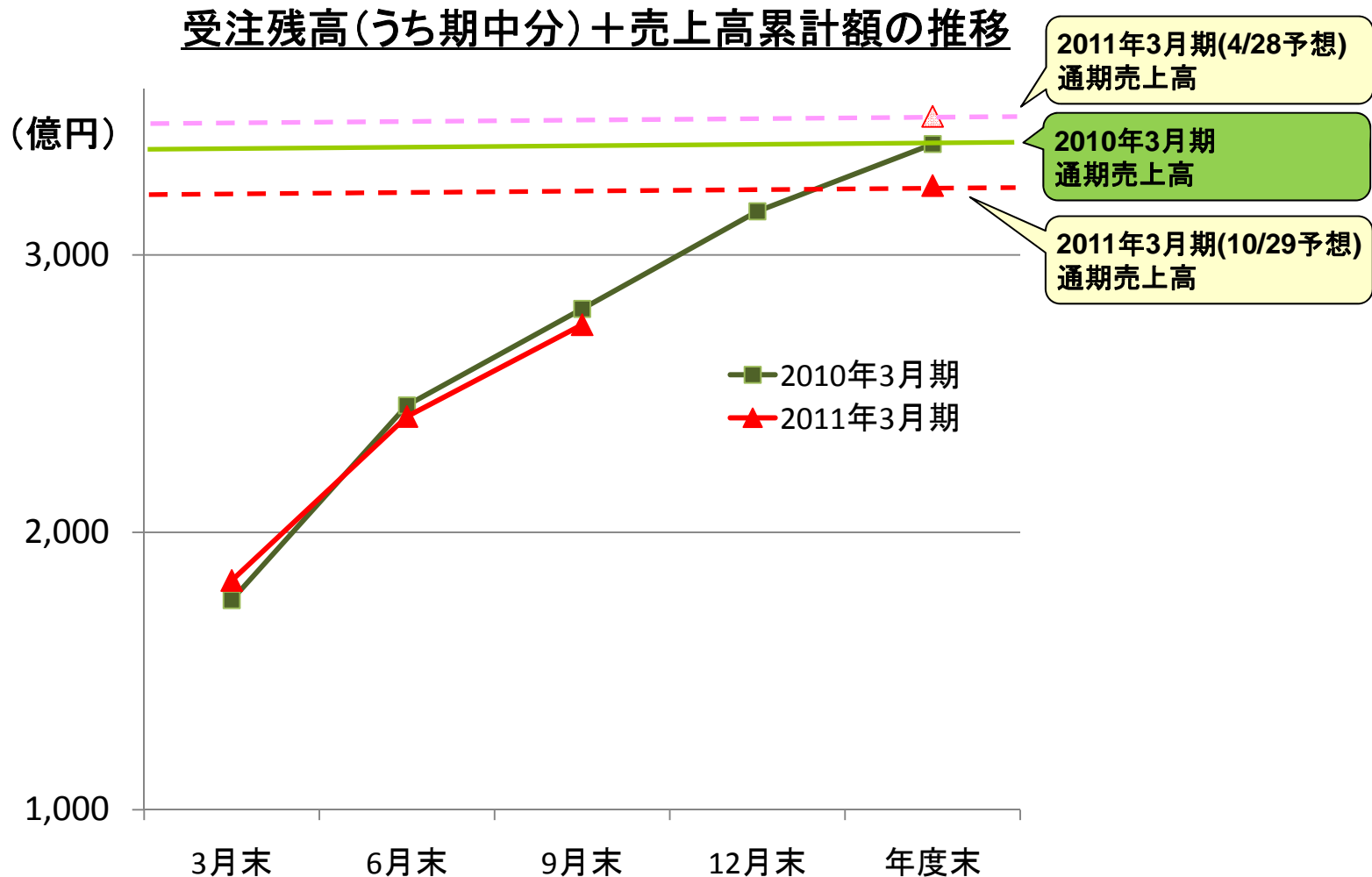
(前年同期比増減率等 %)

	10年計画(9月調査)			修正率(6月→9月)		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期
金融を含む全産業	2.9	5.6	0.7	-0.4	-4.8	3.7
製造業・大企業	4.1	4.7	3.6	-0.1	-1.7	1.4
非製造業・大企業(除く金融)	5.0	4.9	5.2	-1.3	-2.8	0.0
金融機関	3.0	8.8	-1.5	-0.1	-8.6	8.4
銀行業	7.6	12.9	3.7	-2.5	-15.0	10.3
信用金庫等	-12.5	-6.9	-16.0	-2.6	-2.5	-2.6
金融商品取引業	-2.8	-8.1	1.2	0.0	-18.9	18.6
保険業	-0.8	15.8	-13.4	4.1	4.6	3.7
貸金業等	2.0	3.1	0.8	5.4	8.8	2.0

(出所)日銀短観(2010年9月調査)企業に対するアンケート調査に基づく














# 売上高＋連結受注残高(うち期中分)

## ➤ 2Qの受注環境は引き続き厳しい状態が継続



# トップラインの拡大に向けた足元の状況

## ➤ 金融業の顧客ニーズを的確にとらえ、迅速な案件獲得を目指す

	上期	下期	
コンサルティング			<ul style="list-style-type: none"> <li>・2Qは増収に転じ、事業環境に改善の兆し</li> <li>・一方、受注残高は未だ弱く、一層の営業強化が必要</li> </ul>
金融ITソリューション			
証券業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要顧客の国内リテールIT戦略の方向性が明確化 ⇒ITパートナーとして強力にサポート</li> <li>・共同利用型サービスでの新規顧客を獲得</li> </ul>
保険業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存顧客を中心に追加案件獲得に向けた活動</li> <li>・業界再編の動きへの着実な対応</li> </ul>
銀行業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・投信窓販システム切替え対応、ネットバンク拡大に向けた営業等の継続</li> <li>・主要顧客のビジネス拡大(サービス強化等)への対応 等</li> </ul>
その他金融業等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産運用系ASPの新規顧客拡大、新バージョンへ移行促進</li> <li>・BPO事業の推進</li> </ul>
産業ITソリューション			
流通業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客の投資需要(海外展開、機器老朽化対応等)の獲得</li> </ul>
製造・サービス業等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規顧客・新規案件の獲得努力を継続(SCMのノウハウを最大限活用)</li> <li>・品質管理・プロジェクト管理強化による採算性の向上</li> </ul>

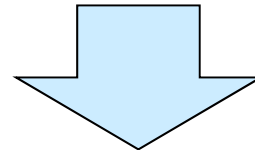
# プロジェクトマネジメントのさらなる強化

---

新規業種向けプロジェクト

新規顧客向けプロジェクト

高リスクなシステム開発プロジェクトが足元増加



高リスクプロジェクトのリスク管理をレベルアップ

- ・計画策定時のリスク度チェックの精緻化
- ・プロジェクト遂行過程での問題早期発見の仕組みを強化

# 2011年3月期 通期連結業績予想修正のポイント

---

- **短期的には厳しい事業環境が継続する見通し**

1. 顧客のIT投資回復は、従来予想よりも先送り
2. 新規分野での顧客獲得期待値の下方修正
3. 証券業、資産運用業向けでは案件拡大の兆しがあるものの、今下期への寄与は限定的

- **不採算案件によるコスト増。一方、コストコントロールは強化**

1. 2Qまでに認識した不採算案件によるコスト増の影響を勘案
2. 外注費をはじめとした、コストコントロールの強化

# 2011年3月期 通期連結業績予想

(億円)

	2010年3月期 通期(実績)	2011年3月期 (10/29予想)	前期比		2011年3月期 (4/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
売上高	3,386	3,250	△136	△4.0%	3,500	△250
営業利益	400	370	△30	△7.7%	440	△70
営業利益率	11.8%	11.4%	△0.5P		12.6%	△1.2P
経常利益	409	385	△24	△6.0%	450	△65
当期純利益	218	225	+6	+2.9%	260	△35
1株当たり当期純利益	¥112.32	¥115.59	+¥3.27	+2.9%	¥133.59	△¥18.00
1株当たり年間配当金	¥52.00	¥52.00	-	-	¥52.00	-

# 2011年3月期 セグメント別外部連結売上高予想

(億円)

	2010年3月期 通期(実績)	2011年3月期 (10/29予想)	前期比		2011年3月期 (4/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティング	179	185	+5	+3.1%	190	△5
金融ITソリューション	2,090	2,015	△75	△3.6%	2,170	△155
証券業	1,084	1,010	△74	△6.8%	1,110	△100
保険業	538	540	+1	+0.2%	560	△20
銀行業	258	250	△8	△3.4%	265	△15
その他金融業等	208	215	+6	+3.1%	235	△20
産業ITソリューション	909	845	△64	△7.1%	950	△105
流通業	412	410	△2	△0.7%	415	△5
製造・サービス業等	496	435	△61	△12.4%	535	△100
IT基盤サービス	113	120	+6	+5.3%	100	+20
その他	92	85	△7	△8.6%	90	△5
合 計	3,386	3,250	△136	△4.0%	3,500	△250



# 2011年3月期 サービス別連結売上高予想

(億円)

	2010年3月期 通期(実績)	2011年3月期 (10/29予想)	前期比		2011年3月期 (4/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	288	300	+11	+3.9%	300	-
開発・製品販売	1,268	1,220	△48	△3.8%	1,330	△110
運用サービス	1,670	1,660	△10	△0.6%	1,710	△50
商品販売	159	70	△89	△56.0%	160	△90
合 計	3,386	3,250	△136	△4.0%	3,500	△250